## 別府大学

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例				

<b>産子目連携活動において今後里点化したい事</b> 項

				_		
運営費交付金			百万円	9		
研究者数	13	0 名	実用化数		0	件
			_			
窓口	地域連携推	進センター				
担当者	神田 英嗣	英嗣				
TEL	0977-86-	-86-6666				
Email	e-kanda@	kanda@nm.beppu-u.ac.jp				
産連HP	https://ww	//www.beppu-u.ac.jp/research/				
シーズDB						

#### 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	務者当たり研究者	数
	実務担当者数	1	名		130	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)		0	
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分カテモ・グラマン7市/西	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	1	0.008
特許保有件数	0	0.000

	不実施補償の取扱
	契約雛形の条項に従う
7	不実施補償を求めない場合がある
	原則、不実施補償は求めない
	その他

	不実施補償の取扱				
契約雛形の条項に従う					
不実施	補償を求めない場合がある				
原則、	不実施補償は求めない				
	その他				

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学·獣医学;衛生学	1

#### 外部資金

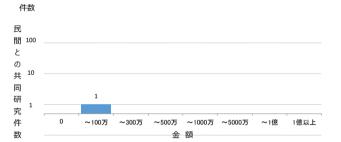
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
14,690	千円	17		6,661

間接経費割合
20%以上25%未満

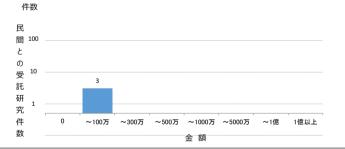
株式の	保有	新株予約権の保有		
有	無	有	無	

■共同研究	2017年度	2018年	順位※			
■共内切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	
全体	1,700	5	420	2		位
民間企業のみ	0	0	300	1		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	0	0	300	1		位

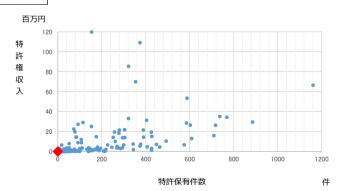
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	順位本	
全体	10,070	21	6,141	16		位
民間企業のみ	1,048	2	1,566	3		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	1,048	2	1,566	3		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



URA			URA当たり研究者数	
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし		

クロスアポイントメントの実績(人)		受入	派遣
大学·民間企業以外			
	民間企業		

クロアポ規定 有 無 企

企業とのクロアポ 可能 不可

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		0 社		インキュベーション施設		
	相談窓口		支援	支援ファンド		無
	有	無	有	無	部屋数	件
	設立ポリシー・推進計画		支援総額	支援総額(千円)		件
	有	無				

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

性子も建物を目的としたエダイベン	71、71的00成小五
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 0 件 平均(目安)交渉期間 6ヶ月以上9ヶ月未満

■組織的産学連携活動の取組事例

#### ■産学連携活動の主な実用化事例

#### 「別府温泉水あまざけ」の商品化 概要 図・写真・データ この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題 大分県別府市は温泉の源泉数、総湧出量ともに日本一である。この豊富な資源を活 用したご当地お土産品の開発。(地方創生) BEAMS JAPANのバイヤーのアドバイスを受けながら、地元資源を活用したご当地お土産品の研究を行い、開発・販売に至った。これに伴い、温泉という資源が現地で入浴するためのものだけではなく、様々なものに転用できる可能性を見出した。 ・実用化まで至ったポイント、要因 民間と自治体の企画に学生自身が興味を持ち、積極的にアイデアなどを出し、開発に 関わったこと。また実用化までの環境(設備・地元酒蔵等)が整っていたこと。 研究開発のきっかけ ビームスと別府市のコラボレーションプロジェクト「BEAMS EYE on BEPPU」を通じて、 「あたらしいみやげもの」開発事業の公募があり、酒造りに関心のある本学食物栄養科 学部発酵食品学科の学生が興味をもったことがきっかけとなった。 ・民間企業等から大学等に求められた事項 これまでにない別府らしいお土産にすること。別府を代表するようなお土産にすること。 ファンディング、表彰等 ・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性 参考URL 温泉水を仕込み水に用いたことで、これまでにない新しい風味の甘酒になった。使用したあまざけは甘酒でありながら子供から大人までが楽しめるノンアルコールで製造した。 https://www.beppuu.ac.jp/topics/course/ferment/2018/006695.php?fbclid=IwAR2qZH81yI988IMo-Zy4yYFhRU\_a52ZIqeHAEojWo-CC2h3D6P\_OiLsWD68

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例
産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金				百万円			
研究者数	127 名 実用化数					0	件
窓口	地域連携t	地域連携センター					
担当者	大貫智之	大貫智之					
TEL	029-232-	029-232-2652					
Email	renkei@to	renkei@tokiwa.ac.jp					
産連HP							
シーズDB							

#### 産学連携担当部署の体制

産*	学連携担当部署			実務者当たり研究者数		
	実務担当者数	3	名		42	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
		※専門家を	配置している	場合は、赤色	色で表示されます	•

産*	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

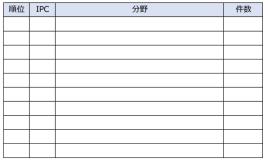
#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分カテモ・グラック7市/西	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

	不実施補償の取扱
	契約雛形の条項に従う
7	不実施補償を求めない場合がある
	原則、不実施補償は求めない
	その他

	不実施補償の取扱
	契約雛形の条項に従う
不実	施補償を求めない場合がある
原	則、不実施補償は求めない
	その他

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)



#### 外部資金

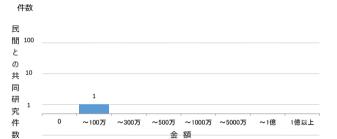
科研費		その他政府系資金	民間資金
金額	件数	(千円)	(千円)
千円			0

間接経費割合	株式の	保有
間接経費の割合を定めていない	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位※
■共同训九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位本
全体	216	1	324	1	位
民間企業のみ	216	1	324	1	位
大企業	216	1	324	1	位
由小企業	0	0	0	0	1,4

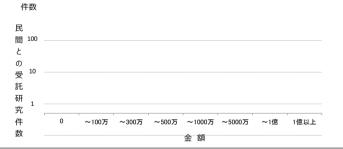
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

新株予約権の保有

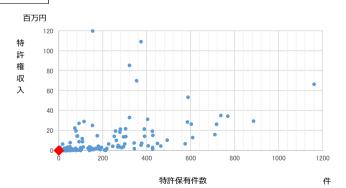


■受託研究	2017年度		2018年	度	順位:	·/·
■又記いれ	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	//只位:	^
全体			0	0		位
民間企業のみ			0	0		位
大企業			0	0		位
中小企業			0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 0 特許権実施等収入(千円)



URA	4			URA当たり研究者数
実	務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

<sup>※</sup>各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

可能 不可

クロアポ規定	有	無	]	企業とのクロス
		****	l	土木でラブログ

■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャ-	-数	社			インキュベーション施設		
相談	窓口	支援ファンド		有	無		
有	無	有		無	部屋数	-	件
設立ポリシー	・・推進計画	支援総額	(千	円)	利用件数		件
有	無						

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

生 1 日を助と日前とのに上げ、	. 1 1 Hb 42 12011 22
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	2	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満	Ì
-----------	---	---	------------	------------	---

建学の精神「自然を愛し、生命を尊び、真理を究める人間の形成」のもと、「健康社会の実現」を使命・目的としている。本学 独自の研究シーズを社会に発信し、地域との連携を深め、産学連携を推進する。

#### 基礎情報

#### 大学の得意分野とその具体例

「健康社会の実現」の使命のもと、平成28~30年度私立大学ブランディング事業「北陸地方の 生薬研究と食文化を基盤とした健康と創薬イノベーション」に取組んだ。成果の一つとして骨のリ モデリングで特許出願している。

#### 産学官連携活動において今後重点化したい事項

大学が有する人的・知的資源を地域の課題に役立てるため、地域から寄せられる情報や要望を 整理し、企業や自治体やと協力し、地域・教職員・学生の三者をつなぐ役割を果たす。

運営費交付金			百万円				
研究者数	12	.3 名	実用化数		0	件	
窓口	研究支援課	Į					
担当者	橋 伊勢子						
TEL	076-229-	1165					
Email	hu-kenkyı	ı@hokurik	u-u.ac.jp				
産連HP	https://ww	w.hokuriku-	u.ac,jp/about/chiiki/				
シーズDB							

#### 産学連携担当部署の体制

産*	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	数
	実務担当者数	2			41	
	关份担当有数	)	名		41	
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
		※専門家を	配置している	場合は、赤色	色で表示されます	•

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			0
	契約書での成果目標、達成時の明記		0	
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)		0	
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願・活用実績

順位 IPC

職務発明の帰属	大学	発明者
4成分カテモ・グラマン7市/西	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	1	0.008
特許保有件数	5	0.041

出願数上位技術分野(2018年公開)

分野

	不実施補償の取扱
	契約雛形の条項に従う
7	不実施補償を求めない場合がある
	原則、不実施補償は求めない
	その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

件数



#### 外部資金

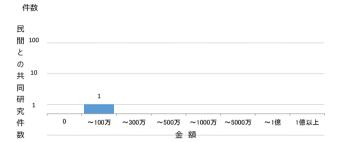
科研費			その他政府系資金	民間資金
金額 件数		(千円)	(千円)	
13,139	千円	11	2,500	5,853

間接経費割合
10%以上15%未満

株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度	2018年	順位※			
■共円切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位本	
全体	238	1	238	1		位
民間企業のみ	238	1	238	1		位
大企業	238	1	238	1		位
中小企業	0	0	0	0		位

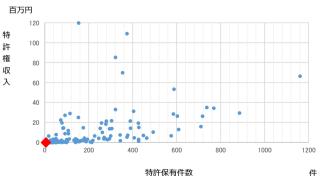
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	順位※		
■又記がれ	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	WKIT X	
全体	920	3	1,000	2		位
民間企業のみ	0	0	0	0		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	0	0	0	0		位



特許権実施等件数	1	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	1	1.0



URA		-	URA当たり研究者数
実務担当者数	0	0 名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

インセンティブ設計あり

#### 産学連携へのインセンティブ

ロスアポイントメントの実績(人)	― マ ユ	派遣
ロヘノハコフトグントの大根(八)	又八	//\Z

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定 有 無

企業とのクロアポ 可能 不可

インセンティブ設計なし

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数				社	インキュベーション施設		
相談	窓口		支援ファンド		有	無	
有	無	有		無	部屋数		件
設立ポリシー	-・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数		件
有	無						

産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会						
イベント名	実施時期					

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究		件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究 1 件 平均(目安)交渉期間 9ヶ月以上1年未満

#### ■組織的産学連携活動の取組事例

#### 北陸大学 地域連携センター

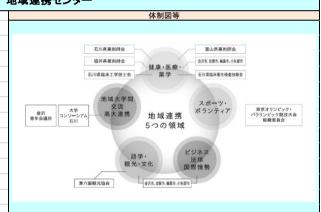
北陸大学は地域と大学と結ぶ窓口として、2014年に地域連携センターを設置し、 地方自治体や地元企業、住民や小中学校・高校と様々な活動を実施してきた。 その活動内容は、地域からの要望に応じて、地方自治体と連携したマラソン大会 の運営・通ボランティア、小学校での国際交流活動のお手伝い、お祭りの企画か ら雪かきなど、多岐に渡り、今まで多くの教員や学生が活躍してきた。

概要

大学発ベンチャー企業「サムライ金沢株式会社」は、石川県より「平成29年度いしかわ産業化資源活用推進事業ファンド事業」の採択を受け、事業展開しているほか、「忍者パルクールin Kanazawa 2018」を開催し、金沢の魅力を全世界に発信する活動を行っている。

参考URL: https://www.hokuriku-u.ac.jp/sptopics/201804131634.html

地域連携センターは、地域活性化・地方創生のthink tankではなく、Do tankとして、地方や地域の行政や企業等と共に考えて、共に実現に向けて行動できるパートナーとなり、財政や人的資源が限られる中で、地方や地域の課題解決のために、大学が有する研究成果や知見、技術、問題発見・解決能力を持つプレインとしての知的・人的資源を活かしていくことを目指す。



#### ■産学連携活動の主な実用化事例

#### 健康維持に最適なバランスドフード「シャカ茶々」

#### ・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

高齢化社会では、健康寿命の延伸が課題となっている。7大栄養素および骨に作用するフラボノイドやカルシウムを手軽に摂取できることにより、骨粗鬆症や生活習慣病の予防に貢献する。

概要

#### 成果

手取川河川敷に自生する「カワラケツメイ」からフラボノイド配糖体(F2)を単離・同定し、F2が 骨芽細胞と破骨細胞の分化を促進することを見出した。(特願2017-181670(PCT/JP2018/34808)

#### ・実用化まで至ったポイント、要因

カワラケツメイの茎や葉が健康茶などで親しまれていることに着目し、そこから植物由来成分であるフラボ ノイドの抽出に成功した。このフラボノイドは破骨細胞を抑制せず、骨芽・破骨の両細胞を活性化するため 副作用はなく終口での投与が可能であることから開発した。

#### 研究開発のきっかけ

平成28年度私立大学研究ブランディング事業「北陸地方の生薬研究と食文化を基盤とした健康と創薬イノ ベーション」選定により薬学部の研究成果を反映した健康食品の製品開発を行った。

・民間企業等から大学等に求められた事項

研究成果の正確なデータの提供。試作品の評価の提供。

#### ・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

カワラケツメイに含有されるフラボノイドF2の特徴を生かすために、カルシウム成分の多い 「桑の葉」栄養素の豊富な「麻の実」を配合。さらに不足成分を追加して<u>総合栄養バランス食</u> 品とした。



# 獨協医科大学

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金 研究者数	百万円       1,218 名     実用化数     0 件
窓口 担当者 TEL	
Email 産連HP シーズDB	

#### 産学連携担当部署の体制

産*	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	数	
	CD ZWALD NV TV WA				205		
	実務担当者数	4	名		305		
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。						

		***	AL-47 000	AL ARTES SE
生"	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
40次3万プロドグマングログ	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	1	0.001
特許保有件数	2	0.002

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

## 出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学·獣医学;衛生学	2
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1

#### 外部資金

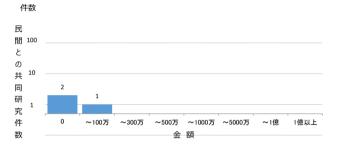
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
145,730	千円	91	32,385	878,946

間接経費割合	
間接経費の割合を定めていない	

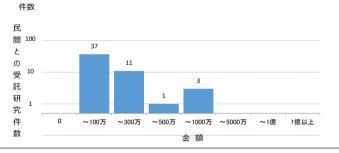
株式の保有		新株予約権の保有		
有	無	有	無	

■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■共円训九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順江水	
全体	2,631	5	216	4		位
民間企業のみ	2,356	4	216	3		位
大企業	1,756	2	216	1		位
中小企業	600	2	0	2		位

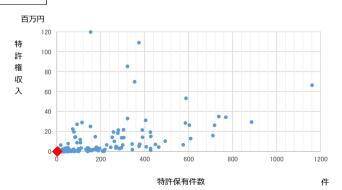
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度		2018年	2018年度		順位※	
■又記別九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	文		
全体	72,942	73	88,606	111		位	
民間企業のみ	47,455	35	49,006	52		位	
大企業	47,369	34	49,006	52		位	
中小企業	86	1	0	0		位	



特許権実施等件数	0	実施等件数点たり
特許権実施等収入(千円)	0	



URA			URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

#### 産学連携へのインセンティブ

_	ALD - 11 4-7 17	
	インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人)		受入	派遣
大学·民間企業以外			
民間企業			

クロアポ規定	有	無	

企業とのクロアポ	可能	不可
----------	----	----

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		学発ベンチャー数 0 社		インキュベーション施設		
相談窓口			支援ファンド		有	無
有	無		有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額(千円)		利用件数	件	
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	件	平均(目安)交渉期間	

■組織的産学連携活動の取組事例

# 姫路獨協大学

#### 基礎情報

# 大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項	

							_		
運営費交付金						百万円			
研究者数		16	7	名		実用化数		0	件
	·				•				
窓口	総務	部地域	連携	課					
担当者	尾方	尾方友洋							
TEL	079	079-223-6586							
Email	chii	hiiki@gm.himeji-du.ac.jp							
産連HP									
シーズDB									

#### 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実務者当たり研究者数			
	実務担当者数 5 名			33			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。						

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

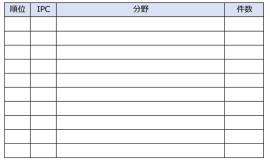
#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
和が分光がが高	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)



#### 外部資金

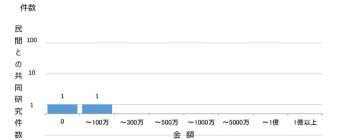
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
31,043	千円	20		0

	間接経費割合	株式
I	10%以上15%未満	有

株式の	保有	新株予約権の保有				
有	無	有	無			

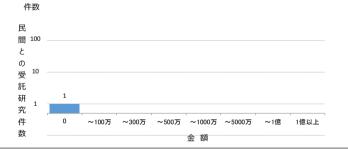
■共同研究	2017年度		2018年	度	順位※	,
■共内切九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	順位次	
全体	500	2	200	2	1	位
民間企業のみ	500	2	200	2	1	位
大企業	500	2	200	2	1	位
中小企業	0	0	0	0	1	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

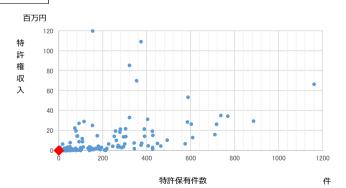


■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■又記がれ	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位本	
全体	200	1	0	1		位
民間企業のみ	200	1	0	1		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	200	1	0	1		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 0 特許権実施等収入(千円)



URA				URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

<sup>※</sup>各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

## ■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数			社	インキュベーション施設		
相談	窓口	支援ファンド		有	無	
有	無	有	無	部屋数		件
設立ポリシー・推進計画		支援総額	(千円)	利用件数		件
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

7 . I	1 1 Mis an 1777 3 2 22
イベント名	実施時期
ひめじぐるめらんど	4月
国際フロンティア産業メッセ	9月
企業・大学・学生マッチング in Himeji	1 1月

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	1	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月未満

## 広島文教大学(広島文教女子大学)

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例
産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金			百万円		
研究者数	81	名	実用化数	0	件

研究者数	81 名 実用化数	Ţ.	0	件
窓口	学園統括部			
担当者	山本 秀子			
TEL	082-814-9992			
Email	sougou@h-bunkyo.ac.jp			
産連HP				
シーズDB				

#### 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	務者当たり研究者	<b>数</b>
	実務担当者数		名			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

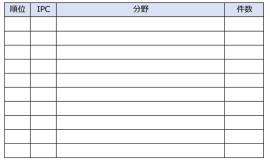
#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
明幼先中の小市高	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱     契約離形の条項に従う     不実施補償を求めない場合がある     原則、不実施補償は求めない     その他	
不実施補償を求めない場合がある 原則、不実施補償は求めない	不実施補償の取扱
原則、不実施補償は求めない	契約雛形の条項に従う
	不実施補償を求めない場合がある
その他	原則、不実施補償は求めない
	その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)



#### 外部資金

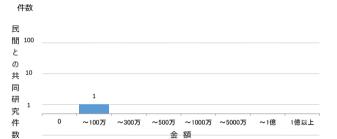
科研費			その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
1,950	千円	2		150

間接経費割合	
間接経費の割合を定めていない	

株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	順位※		
■共内切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	川貝122:※	
全体			150	1		位
民間企業のみ			150	1		位
大企業			150	1		位
中小企業			0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

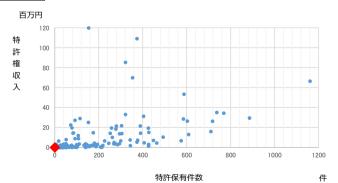


■受託研究	2017年度		2018年	順位※		
■又もいり九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	川東位次	
全体			0	0		位
民間企業のみ			0	0		位
大企業			0	0		位
中小企業			0	0		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 0 特許権実施等収入(千円)



UI	R A			URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

#### 産学連携へのインセンティブ

	インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
--	-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャ-	-数			社	インキュベー	-ション施設
相談	窓口		支援ファンド		有	無
有	無		有	無	部屋数	件
設立ポリシー	-・推進計画	支援総額(千円)		利用件数	件	
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

住 1日足156日前に075工な 1 つ	
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満	Ì
-----------	---	---	------------	------------	---

## 中村学園大学

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項

運営費交付金 研究者数	164	4 名	百万円 実用化数	0	件
窓口担当者					
TEL					
Email					
産連HP					
シーズDB					

#### 産学連携担当部署の体制

産*	学連携担当部署			実	務者当たり研究者	<b>香数</b>
	実務担当者数	0	名			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

産=	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック			
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
40次3万プロドグマングログ	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	4	0.024

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	A61	医学·獣医学;衛生学	1

#### 外部資金

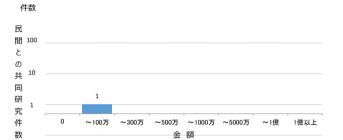
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
40,160	千円	27	6,689	7,608

間接経費割合	
10%以上15%未満	

株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

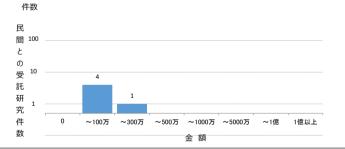
■共同研究	TT:22 2017年度 2018年度 III		順位:	順位※		
■共内切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	川良1立:	*
全体			100	1		位
民間企業のみ			100	1		位
大企業			0	0		位
中小企業			100	1		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

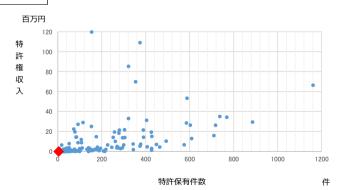


■四紅紅炒	受託研究 2017年度 2018年度 (5円) (5円) (5円) (5円) (5円) (5円) (5円) (5円)		度	順位※		
■又記別九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	/原位/	
全体	11,668	10	7,910	10		位
民間企業のみ	4,739	4	1,980	5		位
大企業	2,834	1	850	3		位
中小企業	1,905	3	1,130	2		位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



特許権実施等件数 実施等件数点たり 特許権実施等収入(千円) n 0.0



UF	RA			URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

<sup>※</sup>各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

#### 産学連携へのインセンティブ

 A_223 - 11 11	
インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人	)	受入	派遣
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無

企業とのクロアポ	丁能	不可
----------	----	----

#### ■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数			0 社		インキュベーション施設	
相談	相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無		有	無	部屋数	件
設立ポリシー	設立ポリシー・推進計画		支援総額(千円)		利用件数	件
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

注 1 日 年 15 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	件	平均(目安)交渉期間	

# 熊本学園大学

#### 基礎情報

大学の得意分野とその具体例				

産学官連携活動において今後重点化したい事項					

運営費交付金	百万円			
研究者数	168 名 実用化数 0 件			
窓口	学術文化部			
担当者	東勇一			
TEL	096-364-5161			
Email	kodo-shien@kumagaku.ac.jp			
産連HP	http://www1.kumagaku.ac.jp/office/gakubun/			
シーズDB	http://gvoseki.kumagaku.ac.ip/			

#### 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	務者当たり研究者	<b>香数</b>
	実務担当者数		名			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。					

٠,	*\±46****** \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	産連本部	他部署	D 如玉缸
座-	学連携業務分担	性理本部	他部者	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)			
	共同研究の進捗管理とフィードバック		0	
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

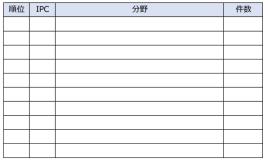
#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
和が分光がが高	未設定	
	研究者あたり	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

	不実施補償の取扱
事	2約雛形の条項に従う
不実施	補償を求めない場合がある
原則	、不実施補償は求めない
	その他

	不実施補償の取扱
契	約雛形の条項に従う
不実施	補償を求めない場合がある
原則。	不実施補償は求めない
	その他

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)



#### 外部資金

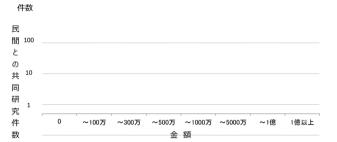
科研費		その他政府系資金	民間資金
金額	件数	(千円)	(千円)
千円			0

間接経費割合
間接経費の割合を定めていない

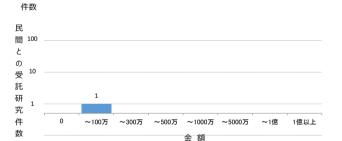
株式の保有		新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度	2018年	順位※			
■共円切九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	順位次	
全体	100	1	100	1		位
民間企業のみ	0	0				位
大企業	0	0				位
中小企業	0	0				位

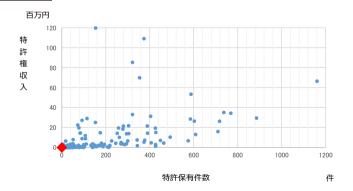
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■文武师九	受入額(千円)	件数	受入額 (千円)	件数	順位本	
全体	200	1	1,610	2		位
民間企業のみ	200	1	200	1		位
大企業	0	0	0	0		位
中小企業	200	1	200	1		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



URA		URA当たり研究者数		
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし

クロスアポイントメントの実績(人) 大学・民間企業以外		受入	派遣
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

#### ■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		0 社		インキュベーション施設	
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額(千円)		利用件数	件
有	無				

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

圧于日廷派とロリにした工なー・ン	1 /1 即以成小五
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連	携本部が関与した1000万円以上の共同研究	9 0	件
内、	マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	

## 西九州大学

#### 基礎情報

# 大学の得意分野とその具体例

産学官連携活動において今後重点化したい事項					

運営費交付金 研究者数	百万円       123 名     実用化数     0 件
窓口	総務課
担当者	眞﨑 奈津美
TEL	0952-37-9204
Email	syomu@nisikyu-u.ac.jp
産連HP	https://www.nisikyu-u.ac.jp/extension/
シーズDB	http://er.nisikvu-u.ac.ip/

#### 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署				実	務者当たり研究者	<b>新数</b>
	実務担当者数	0	名			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
	※専門家を配置してい			場合は、赤色	色で表示されます	•

産生	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記			
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)		0	
	共同研究の進捗管理とフィードバック		0	
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
40次3万プロドグマングログ	未設定	
		研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	2	0.016

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

	不実施補償の取扱		
契約雛形の条項に従う			
不実施	補償を求めない場合がある		
原則、	不実施補償は求めない		
	その他		

#### 出願数上位技術分野(2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G06	計算、計数	1

#### 外部資金

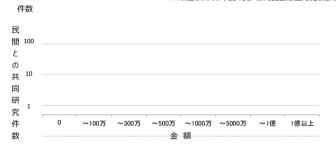
	科研費		その他政府系資金	民間資金
金額		件数	(千円)	(千円)
28,124 千円		21	50	3,370

I	間接経費割合
	間接経費の割合を定めていない

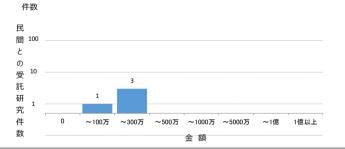
株式の	保有	新株予約権の保有		
有	無	有	無	

■共同研究	2017年度		2018年	度	順位:	·/
■共円切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円) 件数		川貝1立:次:	
全体	50	1	50	1		位
民間企業のみ	0	0				位
大企業	0	0				位
中小企業	0	0				位

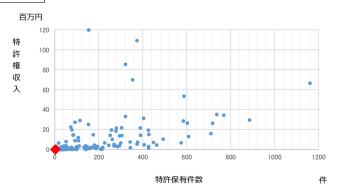
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究	2017年度	2018年	順位※			
■又記別九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	加良证太	
全体	3,410	3	6,380	4		位
民間企業のみ	1,410	2	6,380	4		位
大企業	1,300	1	1,480	1		位
中小企業	110	1	4,900	3		位



特許権実施等件数	0	実施等件数をたり
特許権実施等収入(千円)	0	



UI	R A			URA当たり研究者数
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績(人	受入	派遣	
	大学·民間企業以外		
	民間企業		

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		社		インキュベーション施設		
相談窓口			支援ファンド		有	無
有 無			有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画			支援総額(千円)		利用件数	件
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

性十日にあるロリとしにエタイトン	1
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	4	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満	Ì
-----------	---	---	------------	------------	---

Email

産連HP

シーズDB

## 旭川大学

#### 基礎情報

大学の得意分野	野とその具体例
産学官連携活	動において今後重点化したい事項
運営費交付金	百万円
研究者数	61 名 実用化数 0 件
窓口	地域研究所
担当者	鈴木 健太
TEL	0166-48-3121

#### 産学連携担当部署の体制

産*	学連携担当部署			実務者当たり研究者数		
	実務担当者数		名			
	关劢担当日奴		白			
	専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他
		※専門家を	配置している	場合は、赤色	色で表示されます	•

nttps://www.asahikawa-u.ac.jp/category/tiken/

suzukiknt@live.asahikawa-u.ac.jp / chiken@live.asahikawa-u.ac.jp

産:	学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
	共同研究等の企画・提案			
	契約書での成果目標、達成時の明記	0		
	共同研究契約の締結/判断(契約権限の集中)	0		
	共同研究の進捗管理とフィードバック	0		
	企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

発明者

研究者あたり

0.000

0.000

不実施補償の取扱

契約雛形の条項に従う

不実施補償を求めない場合がある

原則、不実施補償は求めない

※該当する業務は、赤色で表示されます。

#### 特許出願·活用実績

職務発明の帰属

特許出願件数

特許保有件数

大学

未設定

0

0

出願数上位技術分野(2018年公開)						
順位	IPC	分野	件数			

#### 外部資金

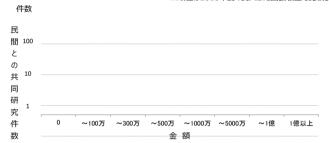
科研費		その他政府系資金	民間資金	
金額		件数	(千円)	(千円)
4.420 壬円 4		4	0	802

	_	
間接経費割合		
間接経費の割合を定めていない	]	

株式の	保有	新株予約	権の保有
有	無	有	無

■共同研究	2017年度		2018年	順位:	·/	
■共円切九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次	
全体			0	0		位
民間企業のみ						位
大企業						位
中小企業						位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



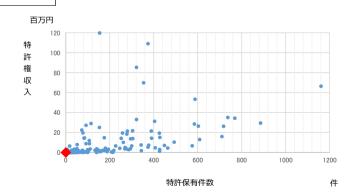
■受託研究	2017年度	2017年度 2018年度		2018年度		順位※	
■又記別九	受入額(千円)	件数	受入額(千円)	件数	順位次		
全体	2,213	8	802	3		位	
民間企業のみ	100	1	0	0		位	
大企業	0	0	0	0		位	
中小企業	100	1	0	0		位	

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



 特許権実施等件数
 0
 実施等件数

 特許権実施等収入(千円)
 0



J R A			URA当たり研究者数	
	実務担当者数	0	名	

#### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程(教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程(教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程(教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程(教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程(教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

<sup>※</sup>各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

#### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし		
クロスアポイントメントの実績(人)	受入	派遣	

大学·民間企業以外	
民間企業	

クロアポ規定	有	無	企業とのクロアポ	可能	不可

■組織的産学連携活動の取組事例

#### ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数		0	社	インキュベーション施設		
相談	窓口	支援ファンド		有	無	
有	無	有	無	部屋数	件	
設立ポリシー・推進計画		支援総額(千円)		利用件数	件	
有	無					

#### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会は

住 1日足156日前に075工な 1 つ	
イベント名	実施時期

#### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	2	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満	Ì
-----------	---	---	------------	------------	---